



# なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

## 「見取り、その先に」

児童支援専任 藤田 直

「見取る」という言葉には次のような意味があります。

見て知る。見て取る。

三省堂国語辞典 第八版(三省堂)

辞書的な意味は上の通りですが、私たち教職員は、もう少し進んだ意味で「見取る」という言葉を使っています。それは、子どもたちに関わるいろいろな情報をもとに、「今、どんなことを考えているのだろうか?」「今、どんな感情なのだろうか?」「今、何に悩んでいるのだろうか?」「今、力をつけようとしていることは何だろうか?」と、「問い」をもって子どもたち一人ひとりの現在の姿を捉えようとするということです。

学習への取組や発言、ノートに書く字、休み時間の過ごし方、教職員や友達と話すときのちょっとした表情や声色など様々な情報についてのアンテナの感度を高め、子どもたちをより深く理解することで、誰もが安心して学校生活を送り、力を伸ばして行ってほしいと願いながら、子どもたちと日々向き合っています。

さて、12月は「横浜市いじめ防止啓発月間」と「人権月間」です。本校では、この機会に子どもたちを見つめ直し、一人ひとりを深く「見取る」ために3つの手立てを全学級で行っています。

### 「学校生活についてのアンケート」

「自分自身に関すること」と「自分の学校生活に関すること」の2つで構成されており、「自分づくり」「仲間づくり」「集団づくり」の視点から、子どもたちの思いを捉えることをねらいとしています。

### 「いじめ解決のための生活アンケート」

学級のなかで、いじめ等がどの程度起きているか、いじめを受けている子どもがどの程度いるのかといったいじめの状況を把握することをねらいとしています。

### 「おはなしタイム」

12月の個人面談までに、子どもと担任が1対1で面談を行います。授業や学校生活において、頑張りやよさを見つけ伝えたり、安心して学校生活を送ることができているかを見取ったりすることを大切にしています。その取組をより広げていくことをねらいとしたおはなしタイムです。いま各学級担任が、学級の子どもたち一人ひとりと改めてじっくりと話す機会をつくり、児童理解に生かしていくことをねらいとしています。

12月2日からは個人面談です。担任や学年職員、専科、養護教諭、専任など中和田南小がチームになって見取ったお子さんのよさや、さらにチャレンジしてほしいポイントなどをお伝えします。また、おうちの方の思いやお子さんへの願いなども聞かせていただきたいです。ご家庭と学校でお子さんの成長を分かち合える時間になればと考えています。そして、それを「見取り」に生かし、学年のまとめとなるこれからの大切な時期を見守っていきます。